

まなざし

令和2年度

立山町立釜ヶ淵小学校

第2学年 学年だより

12月号

夢中になれる時間、本物にふれる時間。

11月2日。2回目の校外学習で、富山県中央植物園に行きました。

午前は、園内のどんぐりを拾って、どんぐり工作进行了。小雨がちらついていたのですが、子供たちはそんなことにはお構いなし。あちらこちらに散らばっているクヌギやコナラの実を探すのに、大喜びでした。どんぐりを集めた袋が、いっぱいになってきたところでドリアスホールに戻り、いよいよ工作開始。今まで見たことのない木の枝や園内にある様々な植物の実を触りながら、どんな作品にしようかイメージを膨らませながら、制作していきました。

Fさんの感想です。

工作では、1こ目の作ひんは何かへんなのになったけれど、2こ目の作ひんは上手にできたと思います。どんぐりやいろいろなはっぱ、細いえだや太いえだをつかって、工作しました。ざいりょうがいっぱいあって、工作しやすかったです。



どんな材料を使って、自分のイメージする作品にしようか、楽しんでいたFさん。最初の作品より、よりよい作品にしたいと思いながら、作品づくりに取り組みました。出来上がった作品は、中央に葉のあまりない高い木を立て、周りは葉や木の実をたくさん使った、素朴さと華やかさの対称を楽しませるものでした。

Sさんの感想です。

わたしがさいしょに作った作ひんは、犬です。Hさんとアイディアを出しながら、作りました。その犬に、リボンやほっぺをつけました。すると、とてもかわいくなりました。どんぐりに顔をかいて、楽しんでいるうちに、時間になりました。わたしは、どんぐり工作をもっとしたかったなあと思いました。

Sさんは、友達とアイディアを出し合って、作品に工夫を加え、かわいい作品に仕上げました。小さなどんぐりに、豊かな表情の顔を描くなど、作品づくりに没頭していたことが分かります。時間の経つのも忘れて、制作活動に夢中になっていたのですね。

午後は、珍しい植物が所狭しと植えられている熱帯植物や雲南植物のコーナーなどに行きました。テレビや図鑑で見ることはあっても、自分の目で実際に見るのは初めてという子供たちもいて、





あちらこちらで感動を声をあげていました。各コーナーでは、思い思いに気に入った写真を撮りました。使い慣れていないタブレットでしたが、使っているうちに、子供たちは一人前の手つきで、撮るようになっていきました。特に、パッションフルーツやバナナ、コーヒーなどの実ものに、人気がありました。また、ふだん目にするバナナからは想像できない赤っぽい花にも、人気が集まっていました。



Sさんの感想です。

しょく物がそうぞうできないほど、いっぱいありました。びっくりしました。くさいにおいの花やパイナップルがありました。おもしろかったです。と山にないしょく物や天じょうにとどくくらいの高いしょく物もあって、とてもびっくりしました。

Hさんの感想です。

しょく物園に行って、びっくりしたことがありました。

1つ目は、と山に見られないきれいなしょく物があつたことです。2つ目は、バナナやヤシのみを見ることができたことです。3つ目は、天じょうにとどいている木があつたことです。そのほか、ぜつめつしそうなしょく物が見られたので、びっくりしました。

ふだんの学習では、いつも好奇心をもって、対象に働きかけるSさんとHさん。植物園での、珍しい植物との出会いは、感動の連続だったようです。天井に届くくらいの高い木があつたことやパイナップルやバナナが想像していたのと違う実の付け方をしていたことにも、驚いたのでしょう。そんな2人にとって、植物観察できた時間は、とても楽しい時間だったのでしょう。

今回の校外学習では、夢中になってどんぐり工作に取り組むことができました。また、気候や地形の違いから富山では見ることができない植物を実際に見ることで、本物にふれる大切さを学ぶことができました。

ぜひ、ご家庭でも、お子さんが夢中になったり、本物にふれたりする機会を設けていただけたらと思います。

